



平成 18 年 2 月 8 日

各 位

会社名 シダックス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 志太 勤一  
 ( JASDAQ コード番号 4 8 3 7 )  
 問合せ先 取締役 経理財務本部長兼 IR 担当  
 荻野 裕  
 ( TEL : 0 3 - 5 7 8 4 - 8 9 0 9 )

## 平成 1 8 年 3 月期通期 ( 連結 ・ 単体 ) 業績予想の修正について

平成 18 年 3 月期 ( 平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日 ) の業績予想について、平成 17 年 11 月 25 日付当社「平成 18 年 3 月期 中間決算短信 ( 連結 ) 」及び「平成 18 年 3 月期 個別中間財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

### 記

#### 1 . 平成 18 年 3 月期 ( 連結 ) 業績予想の修正

(1) 通期 ( 平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日 )

( 単位 : 百万円、 % )

	連結		
	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	160,000	4,100	700
今回の修正予想(B)	157,000	5,300	150
増減額 ( B - A )	3,000	1,200	850
増減率 ( % )	1.9 %	29.3%	
( ご参考 ) 前期実績(平成 17 年 3 月期通期)	155,264	2,840	127

#### (2) 修正理由

売上高につきましては、コントラクトフードサービス事業及びメディカルフードサービス事業の新規開発を積極的に進めるなか、同業社間の新規獲得競争がなお一層激化し受託価格の低下傾向が続いたため、当社グループが新規契約の収益確保徹底を行った結果、計画に対して約 20 億円の減少を見込み、その他の事業セグメントにおいては概ね計画通りに進捗しております。

経常利益につきましては、グループ戦略の根幹であるエスロジックス事業による当社グループ内のフードサービス事業の食材仕入コスト削減が順調に進んだ結果、グループ全体の収益向上に大きく貢献いたしました。また、材料費・労務費の原価管理の徹底と店舗運営経費の見直し及び間接部門を中心とした販管費の適正化が着実に進んだことで、計画を上回る経費削減を達成することが出来ました。この結果、経常利益は 5,300 百万円となり当初予想に比べ 1,200 百万円増加する結果となりました。

当期純利益につきましては、固定資産の減損会計適用による特別損失の計上が当初予想を下回る 2,501 百万円となったこと等の結果、150 百万円となり当初予想に比べ 850 百万円増加する結果となりました。

なお、税負担率が高いため当期純利益は経常利益と比較して低い水準となっておりますが、事業上で獲得されるキャッシュフローは着実に増加しており、グループ全体の収益獲得力は大幅に改善いたしました。

当社グループを取巻く経営環境は依然として予断を許しませんが、当社グループの経営戦略の進捗が確実に進むとともにコスト競争力が改善した結果、事業拡大の基盤強化を果たすことが出来ました。

## 2. 平成 18 年 3 月期（単体）業績予想の修正

### （1）通期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	単体		
	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	6,900	1,800	1,500
今回の修正予想(B)	6,900	2,200	1,600
増減額(B-A)	0	400	100
増減率(%)	-	22.2%	6.7%
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期通期)	7,884	2,757	840

### （2）修正理由

前年度より当社グループ全体で進めております販管費の適正化が着実に進んだことで、計画を上回る経費削減を達成することが出来ました。これを主な要因として、経常利益及び当期純利益はそれぞれ 2,200 百万円及び 1,600 百万円となり当初予想に比べそれぞれ 400 百万円及び 100 百万円増加する結果となりました。

（注）上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上